



令和8年1月15日

和

青梅市立吹上中学校 学校だより No.9
<https://www.city.ome.tokyo.jp/site/fukiage-j/>

一人一人が飛躍する1年にするため

目標に向かって頑張ろう！

校長 平岡 直実

【始業式 「校長の話」】

新年あけましておめでとうございます。皆さんとこうして令和八年の新春を迎えられたことを、当たり前ですがとてもうれしく思います。冬休みは、忙しい年末を越えると心おどる催しで満ち溢れたお正月を迎えます。そのため、皆さんが浮かれすぎて事件・事故に巻き込まれ、けがをすることがないように願っていました。今日はこうして元気に始業式を迎えることができ、少しホッとしています。

新年を迎え、新たな希望や決意を心に強く秘めていることと思います。三年生は、中学校最後の学期です。1日1日を大切に、思いきり自分を鍛えてほしいと思います。あきらめることなく最後まで自分を磨くことが、これから進路に立ち向かっていく三年生の皆さんがとるべき最良の道だと思います。一年生、二年生の皆さんは、2学期の反省の上に立ち、節度ある学校生活を送り、中学生としての自分の年齢や経験に合った実力を身につけて下さい。そして、進級に向けた準備に入りたいと思います。

今日はここで、皆さんに一つ課題を提示します。これは先生もよく言われたことですが、「皆さんはこの学校（吹上中学校）のために何をしてくれますか？」という課題です。終業式で大掃除を通して「家族の一員としての役割」について少し触れましたが、皆さんは「吹中生という役割」も持っています。そこで、一人一人がさらにこの吹上中学校を良い学校にするために何ができるかを考えてください。例えば「授業をしっかりと受ける」また「積極的に発言したりノートをしっかりと書く」。そういう姿勢で授業に取り組むことが周りの人にも良い影響を及ぼし、授業全体の活性化につながります。また「仲間を大切にする」。自分のことばかりを気にするのではなく、時には周りを見渡し、困っている仲間を見かけたら声をかけてみる。支えになってあげる。皆で楽しい学校生活を送るためには必要なことです。他にもいろいろあると思います。これらの行動は「吹中のため」になることです。そして、このことは自分にも良い影響を与えてくれます。何かきっかけがあると、それが自身の向上につながり、良い循環を生むことはよくあることです。ぜひ「吹上中学校のために、何ができるか？」を考えて行動し、今年一年の飛躍につなげてほしいと思います。

こうして今、話を聞いている皆さんの姿を見てみると、お正月でいくらか緩んだ心と体も切り替えることができているのではないかと感じます。ただ新学期を迎えるにあたって「様々な不安」を感じている人もいられるかもしれません。その人は、家族、先生やスクールカウンセラー、様々な相談機関など、「あなたが信頼できる大人」に必ず相談をしてください。ためらう必要はありません。すぐには解消できないかもしれませんが、気持ちを切り替えることにつなげましょう。

個人情報の保護、
著作権の関係で
画像や挿絵、生徒氏
名は掲載できません。